

大東町塩田地区 [道路改良等について]

Q341

私は過疎地に住んでいる。合併して4年半になるが、なかなか合併効果が見えてこない。大東町も中心部はかなり、いろいろと改善された。

貴方はどの道順でこちらに来られたのか？上久野大東線・川井箱淵線は二つとも生活道路だ。改良の陳情はそれぞれ（地元団体）からしている。本日、私から陳情はしないが、雲南市としてどう考えているのか聞きたい。

今までは川井箱淵線について、除雪・落石対応を（自社が出来る範囲において）ミシマ産業がやっていたが、撤退された。これからはしてもらえない。道路幅員は狭い。落石の時も不安である。落石も撤去されない。市道への落石による事故の責任は市だ。落石注意の看板を設置するだけでなく、どのように対応しているのか。どの程度、落石に対する点検をされているのか？

A

本庁～大東阿用線～上久野大東線のルートで来ました。現在、川井箱淵線について具体的な改良計画はありません。道路はネットワークの形成が大切です。重要な路線だとは認識していますが、交通量も少ないので全線2車線改良は困難です。

県でも1.5車線改良をしている路線はあります。ショートカットや待避所を設けたりして対処しています。危険なところから災害防除事業等を活用して対応しています。（建設部）

A

旧大東町時代にW=5.0mで改良しました。鉾山地帯であるので複雑な坑道もあり、困難な改良工事でした。根本的な落石対策は困難です。

しかし、出来るところから直していくつもりです。県へ要望は行っています。当面は有効な手立てがないので、気をつけて通行してください。ガードレールを設置すれば道路が狭くなりますので、地域の皆さんとどのようにしていった方が良いのか、話し合いの場を持ち、連携を図っていきたくて考えています。（大東総合C）

Q342 [関連質疑]

予算をつけてやろうという話をいただいた。今、10ヶ所程度の部分改良計画がある。もう少し待ってくれ。改良のお願いはしてある。地権者にも協力をお願いしたい。

Q343 [関連質疑]

私はガードレールを設置してくれとは言っていない。財政難ということは認識している。雲南市は安心安全（を目指す）と言っているが、落石の調査をしているのか、点検をして欲しい。

A

全ての市道について調査しているわけではありません。地域の方からここが危ないということを出してもらい、（市が）現場を見て、把握が可能です。是非、（危険箇所を）お知らせください。（建設部）

平成 21 年度市政懇談会（まとめ）

大東町阿用地区 [阿用川と蓮華寺川の寄り洲について]

Q344

堤防の草刈りを実施しているが、河川内の草刈りは危険だ。上・中・下流で堤防の高さを超える寄り洲が有る。上市場地内の大木伐採と、蓮華寺川の寄り洲は、上市場と福富の交互で毎年除草しているが、年々、大きくなっている。

A

昨年に引き続き、雲南県土整備事務所へ要望しています。

県ではたくさんある要望箇所を緊急性の高いところから、逐次、整備予定です。市の河川である蓮華寺川については、河川管理予算が限られており、人命財産に支障を来たす恐れのあるところから対応して参ります。（建設部）

Q345 [関連質疑]

最初の阿用川および蓮華寺川の事だが、昨年も似たような回答を頂いたと思うが、グリーンシティーの後ろの辺の阿用川をだいぶ整備されているように聞いている。だいたい阿用川の方へ、というか川西地内の方へは大体いつ頃されるか、全く計画というか、そういったものは見えてこないが。

A

阿用川と赤川につきまして、合流点付近について、水が流れるところと土のところ、住み分けのような形で整備させていただきました。これによって、残土の処分地の確保等が不要であるということと、草が刈りやすくなるということがあると思います。

そういったことを、地元の皆様、ホタル保存会の皆様、斐伊川漁協の皆様などと協議をしながら、了解が得られれば、上流側の方にのばしていきたいということ、県とも話し合っているところです。

しかし、例えば、今年度の秋以降、どこまで伸ばせるか、といったことにつきましては、今後、まだ県と話し合う余地が残っていますので、事業費等含めて、現在全く不明な状況ですので、そういったことをお答えすることはできませんが、引き続いて協議を進めていきますので宜しくお願いします。（大東総合 C）

Q346 [関連質疑：道路愛護作業の統一について]

阿用地区で、一番奥の自治会です。

市道には、今まで作業所があったが、閉鎖され、産業道路から生活道路へと変わってきた。今までは、人家がない所をその作業所に草刈りや陰伐をしてもらっていた。これから、道路愛護作業を行うにも、高齢化で対応できない所があり、人家が無い区間について、市役所のほうで考えて頂きたい。

A

確かに、たくさんの市道があり、皆さんの力を借りて維持管理をしているのが現実です。

少子高齢化で、人家があっても維持管理が大変になってきています。今後は、大東総合センターと相談しながら、検討して参ります。大東総合センターですが、今年度まで、道路愛護作業は今まで通りです。来年度から、時間と人数で金額が決まるやり方になります。人家がない区間の維持管理は、地元とセンターと協議の上で、区間の設定を行います。（建設部）

大東町春殖地区 [出雲～大東線バイパスと玉湯～吾妻山線ルート計画について]

Q347

出雲～大東線（大東下分地内）はオノ上踏切付近を残すだけになっているが、JRとの協議で長引いているとの説明があった。どこまで進展しているのか説明がない。市の財政絡みで遅れているのではとの声もある。

地元としても長期の工事であり大変不自由をしている。具体的な報告説明をいただき、21年度中に必ず完成をお願いしたい。

また、玉湯～吾妻山線ルートについてもどこまで進んでいるのか、地元より要望を出して進めていいのか、伺う。

A

県道については、市の財政絡みではないので理解して下さい。一般県道出雲大東線の踏み切りの件については、現在JRと協議中ですが、後200m残すのみとなっています。赤川沿いへ寄せるルートを計画中で、踏み切りも移転する計画になっています。

JRと工事協定の上、8月位から踏み切りの所は盛土、9月着手予定で、21年度中には完了予定です。

[玉湯吾妻山線について]

色々噂はあるようですが、説明できる段階に至っていません。県は厳しい財政状況のなか、新庄飯田バイパスを優先的に取り組んでおられます。

玉湯吾妻山線の利便性等、色々な面から検討され、ルート選定されることになっており、もうしばらく時間が掛かると伺っています。要望は建設部国建事業課と連絡を取っていただき、タイミングを計りながら行っていただきたいと思います。（建設部）

大東町佐世地区 [高齢者に対する市民バス運行について]

Q348

高齢者医療を考える上で開業医の前でバスを止めてあげるとか公共交通の便宜が図れないか。

A

今、市民バスは27台運転しています。2億円の経費のうち補助金と乗車料で4千万円ほどにしかありませんが、公共交通として利便性を図る必要があります。

高齢者医療を考える上で開業医さんの前で止めるのも一つのご提言として参考にさせてもらいながら、今後の配車、運行経路等引き続ききめ細かく検討したいと思います。

今後更にたくさんの人にまずバスを利用していただきたいと思います。（政策企画部）

大東町佐世地区 [佐世線の道路改良促進について]

Q349

佐世線の西阿用地内改良促進が佐世地区の最重要課題である。今後の経済対策がらみで見通しはどうか。

A

他の要望されている競争相手もあり、すぐにとはいきませんが、佐世線は道路ネットワーク構想にも上がっているため、もう少し待っていただきたいと思います。要望は重く受け止めております。（建設部）

A

現地も見させてもらっていますが、整備もまだまだ不十分と思っています。免別線の改良を終えて次に着手するという（建設）部長の強い決意を重く受け止めています。（副市長）

大東町大東地区 [主要地方道松江木次線の改良について]

Q350

主要地方道松江木次線の東忌部工区が今年から10年位で拡幅されることになった。これまで歴代の町長、議員も働きかけを行ってきた。松江木次線の車の通行量は、才の峠が1万1千台/1日、里方では1万5千台/1日ある。要望では、「早く拡幅してほしい」などあり行政区外では

平成 2 1 年度市政懇談会（まとめ）

あるが雲南市、大東町、奥出雲町（の人）が一番通る道路であり積極的に取組んでほしい、市の考え方はどうか。

A

松江木次線は長い間、合併前の大東町時代から町長、議員さんがご努力されてこられました。大木原地域は、順調にきており 4 工区までしっかりとやっていかないといけないので、沿線の皆様のご協力をお願いします。

雲南市から松江市へ入るところの 1 軒の理解がなかなか得られず仕方なく迂回する方法で行なうことになりました。

本日、松江木次線、安来木次線、大東東出雲線の主要地方道の会があり、この事業をしっかり進めていくと松江県土事務所長から話がありました。順調に進むよう雲南市、雲南県土も努力していきます。（市長）

Q351 [関連質疑：主要地方道松江木次線の改良について]

奥出雲町の町長と連携して、推進して行ってほしい。

A

連携して推進していきます。（市長）

Q352 [関連質疑]

松江木次線バイパスの未着工部分の工事の新しい計画があるようだが、どういう案なのか。

A

松江木次線の工事は、政権の交代に関係なく、予定通り事業を進捗させていきます。

2 工区目は、平成 25 年度目途に進んでおり、3 工区目は市が県の事業を県になり代わって進めていくという考え方ですので、道路沿線の皆様のご理解、ご協力をお願いします。（市長）

加茂町猪尾・大崎、銅鐸の里岩倉、中山住宅団地 [道路法面の草木の除去について]

Q353

加茂荘原線の法面草木の除去について道路改良工事にあわせてお願いしたい。

A

草木の伐採については、建設部と協議の上、実施できるよう検討したいと思います。

（加茂総合 C）

加茂町加茂あかがわ連合会、加茂中団地 [街路灯の設置について]

Q354

県道出雲大東線から北大西への進入路に街路灯の設置要望を総合センター経由で県に行っているがどのような状況であるか。

A

県と現地確認を行い、要望を行いました。予算上難しいということですが、引き続き要望していきます。（加茂総合 C）

加茂町加茂あかがわ連合会、加茂中団地 [赤川の草刈について]

Q355

赤川河川敷の草刈りは市で許可を出しているのか。

A

市で許可を出しているということはありません。草刈りをされる方が県と協議をされたうえで実施されています。（加茂総合 C）

Q356 [関連質疑]

赤川の増水で刈った草を包んだものが下流まで流れていた。雲南市からこういったことが起こるのは残念に思う。

A

草刈りを実施された業者の方も反省されており、下流域まで断りを入れたうえで回収されるとの報告を受けています。今後こういったことが起きないようにしてもらえるものと考えています。
(加茂総合C)

加茂町中村・昭和・星野・雲並、東谷、砂子原、中村団地、東谷団地[道路の草刈について]

Q357

除草について、この前光明寺の檀家の方が草刈りをしておられたが、そこは10日ほど前に市の要請で除草していた。地区によっては、老人クラブなどで農道や市道の草を刈っているところがある。こうした二重の作業を行うお金があれば、垂れ下がった雑木の処分や計画的な木の伐採などを行ったほうが良いと思う。

A

草刈りのことは情報不足でした。情報を集めて二重の作業にならないよう手を打ちたいと思います。木の垂れ下がりには総合センターでも処分に取り組んでいますが、基本的には土地の所有者で伐採をお願いします。2人の臨時職員でかなりの部分の草刈り・伐採を行っています。また、森林組合でも実施しています。(加茂総合C)

加茂町中村・昭和・星野・雲並、東谷、砂子原、中村団地、東谷団地[道路改修について]

Q358

中村家路線のアスファルトがガタガタである。小学生が歩いているときに、水はねがかかるなどするので直してほしい。

A

現在限られた予算の中で、道路の補修を進めています。来年度ぐらいまでには計画的に実施していきたいと考えています。(加茂総合C)

木次町三新塔地区 [案内川の浄化について]

Q359

島根信用金庫横の案内川にこの時期は藻が発生し、景観も悪く衛生的にも問題がある。雨が降らない日が続くと悪臭が発生する。昔は地元で対応していたが今はその力もなく、人材もいなくなったため、ぜひ市で対応していただきたい。

A

案内川の浄化については、先般も地元から要望があっており、県土の方と写真を撮ったり見回ったりして要望を行っていますが、さらに強く要望していきたいと思います。
(木次総合C)

木次町三新塔地区 [潜水橋の改修について]

Q360

潜水橋の一角は県の景観賞を受けるほど景観が素晴らしく、管理も行き届いており、市のポスターやパンフレットにも載っており市の看板スポットである。潜水橋の上流の塵除けが半分以上だめ

になっているが、景観の面でも潜水橋の確保の面でも必要だと思うので、ぜひ修繕を検討してほしい。

A

以前塵除けが1回流れたときにコンクリート製で新設する案を国交省にかけあいましたが却下されたため、木製で設置しています。現在壊れているので、修繕をするときはまた協議をしなければいけないと思います。何も対応をしていないわけではなく、浮き上がった塵は若干取っており、水の状況を見ながら対応している状況です。（木次総合C）

木次町西日登地区 [市所管道水路維持業務管理システムについて]

Q361

市所管道水路維持業務管理システム、「ハートフルしまね」の雲南版はできないものか。

A

河川の維持管理、道路愛護作業等に対する地域の皆様のご協力には感謝申し上げます。
道路愛護作業は合併後6町でばらばらな対応をしてきており、来年作業の報償金や委託料を市内統一する予定です。個別に実施いただく作業については、具体的な委託料契約を取り交わしたいと思っており、県のハートフル事業と同じような形にしたいと思います。
こうした作業は地域でカバーできるところとできないところがあり、その状況も年々変化してきておりますので、地域の実情に応じた対応をしていきたいと思っております。（建設部）

木次町下熊谷地区 [小原橋のゴミ除去について]

Q362

三刀屋川の小原橋にゴミが引っかかり水位が上昇し、やがて耐えきれなくなって橋が流され水位もすぐに下がったことがある。木次の潜水橋は塵除けがあるが、それが無い小原橋、下流の出雲市の橋は流されてしまった。これからも同じことが繰り返される可能性があるので何らかの対策をして復旧してもらえればと思う。

A

検討課題としたいと思います。（建設部）

木次町温泉地区 [河川管理について]

Q363

河川管理について国土交通省管理河川は右岸・左岸共に整備されているが、県管理部分が荒れている。野谷の反対側は赤道が水でえぐられており、ごみも引っかかっている。ダムも雨量が増えれば放水する必要があるので、平田の堰堤くらいまではダム管理の一貫でなんとかしてほしい。

A

県、国と協議したいと思います。（市長）

木次町日登地区 [コミュニティバスについて]

Q364

コミュニティバスの整備について、運転手の教育・マナー等が盛り込まれているのか聞きたい。

A

これまでも苦情はいただいており、委託会社に連絡して対応していきたいと思っております。（政策企画部）

平成21年度市政懇談会（まとめ）

木次町新市地区 [市民バスについて]

Q365 [市民バス管理者制度について]

市民バスの管理者制の導入については有線放送で募集し大新東に決定となったが、大東町、加茂町はすでに大新東による運営実績があったため、合併後大新東になったのは建前上だけの一般公募で、いわゆる「出来レース」ではないか。

A

合併前は大東町、加茂町で大新東が運行しており、雲南市になり大東・加茂ブロック、三刀屋・木次ブロック、吉田大東広域の3ブロックに分けて公募しました。市で審査会を設け、会社の運行体制等を見て最終的に大新東になりました。（政策企画部）

Q366 [関連質疑]

市民バスがバスセンターにて朝アイドリングして車内の暖房をされるようだが、30分も暖気運転するのはどうかと思う。運転手のためと思われても仕方ないと思うので、対応を考えてほしい。また洗車場についても壁が低く、水しぶきが飛ぶので、ブロックの上1メートル位はシートによる飛沫防止を考えてほしい。

A

アイドリングについては事実確認して対応したいと思います。洗車場については現場確認して対応について担当よりお答えしたいと思います。（政策企画部）

木次町新市地区 [都市計画道路改良について]

Q367

新市交差点から体育館前の都市計画道路は歩道の幅員が狭く、中学生2、3人が自転車で通ると歩行者が車道に降りているが、生徒はそれを当然と思っている節があるが、まったく逆なのではと思う。そこで提案だが、歩道を1メートルくらい広げ、センターラインを廃止し、大型車を通行禁止（路線バスは除く）とすれば、自動車としてもセンターラインがないため用心深く運転するのではないかと思う。また歩道の側溝の蓋の一部が破損していたり、無かったりするので、早急に点検補修をしてほしい。通学路でもあり事故があってからでは遅い。

A

現在の道路構造令では2車線道路については歩道の幅は3.5メートル、少なくとも2.5メートル以上と定められておりますが、当該歩道は当時の規格によるマウンドアップの狭いタイプであり、木次町に限らず雲南市管内すべての道路でこのタイプが使われており、確かに危険であることは認識しております。

今年から道路特定財源が一般財源化され、地域活力基盤創造交付金事業により関連事業にも取り組めるため、そういうものを適用すれば歩道のみを直すことができますので、歩道については検討したいと思いますが、道路については今の路線の性格上、県道稗原木次線から新市交差点を挟んで直進する道路ということで構造が合わせてあり、安来木次線に接続するための連絡道になっている点もあり、前後の道路のバランスについても考慮しなければならず、慎重に検討したいと思います。（建設部）

A

中学生の問題についてはお詫び申し上げます。中学校の方にも注意しておきたいと思います。（教育委員会）

A

側溝の蓋については、おっしゃるとおり痛んでおり、通学路でもあるので危険がないように点検し整備していきたいと思います。（木次総合C）

平成21年度市政懇談会（まとめ）

木次町新市地区 [久野川左岸の管理について]

Q368

久野川左岸について、舗装に一部亀裂ができており、雑草が広がってきているので早急に対処してほしい。またツツジについては市で刈り込みを行ってもらっているが、体育館より上流も市で管理してほしい。市の話では誰が植えたのかという問題があるとのことだが、木次町は桜とつつじが町の花で、苗木を町が提供したと聞いている。

A

久野川左岸について、体育館から下側、道路に雑草が広がっているところを現地調査し補修等対応したいと思います。

桜、つつじ刈り込みについては、高齢化によりつつじ管理が難しくなっている旨伺っております。できるところで道路愛護作業に併せてやっていただいておりますが、自治会の状況も踏まえ、できるところから協力いただき今後のあり方を検討したいと思います。（木次総合C）

三刀屋町鍋山地区 [国道54号拡幅について]

Q369

国道54号拡幅工事の凍結されていたのが先般、凍結解除となりほっとしている。救急車が現在の道路で通過に時間がかかったりして、苦慮している。拡幅によりスムーズに通行することで、地域の皆さんの安全も確保される。早期実現に向けて踏ん張ってほしい。

A

3月31日に凍結の情報が出ました。下熊谷ローソン前から斐伊川までの区間は90%立ち退きも完了しているにもかかわらず凍結となりました。

その後、各方面から要望活動を続け、6月24日に広島で行われた再評価委員会にて審議していただき、継続してもらえることになりました。

但し、コスト縮減のため、里方交差点から島根電工前までは4車線化しますが、島根電工前から三刀屋中学校前は2車線のままとし、右折レーンの設置と、歩道の拡幅を実施します。里熊大橋は上流側に新たに橋を架けます。（建設部）

三刀屋町飯石地区 [河川の汚濁防止について]

Q370

本日（7/3）飯石川の水がものすごい茶色だった。20日前は灰色の水だった。おそらく高速道路の工事現場で溜めてあった水ではなからうか。田に入ることとなるので稲作に影響がある。調査して対応してほしい。

A

本日会場に来る前に気になっていました。20日前は高速道路関係であり、掃除中のミスで流れたとの原因も分かっています。お断りの対策もとられました。

工事は、トンネル等の部分工事から山を切り出す工事に移っており、土が出やすくなっている状況です。

共用開始平成26年までとなるので全工区で問題化しています。地域に工事委員会を組織してもらっているので報告していただくか、建設部も窓口になっているので連絡してください。（建設部）

Q371 [関連質疑]

高速道路の排水について、知能犯的に流しているのではないか。川の様子を見ていると午後3時以降に白濁の水が流れてくる。朝方には綺麗な水に変わっている。今日はたまたま雨が降ったことから流したのではないだろうか。監視を強めてほしい。

平成21年度市政懇談会（まとめ）

A

知る限りではそのようなことは聞いていません。

ダンプ、生コン車が走ると舗装が汚れることもあって、住民からとにかく足を洗うという要望もあり対応しています。その水が側溝に流れて川が汚れるといった、イタチごっこになっています。若干は流れると思いますが、国にも（対応を）要望していきます。（建設部）

三刀屋町一宮地区 [国道54号沿線のまちづくりについて]

Q372

国道54号4車線化凍結解除になり、大変良かったが、民家の移転などで地域が虫食い状態になった。下熊谷を中心としたまちづくりは、合併前からの事案だとは思いますが、住みやすい賑わいのあるまちづくりのビジョンをしっかり持ってやってほしい。

A

国道54号の道路を利用した道路計画も策定していきますし、森ノ本地区についても、地権者の皆さんの意向を伺いながら、地区計画も立てていきます。（建設部）

三刀屋町三刀屋地区 [国道54号の管理について]

Q373

国道54号の管理状態が非常に悪い。歩道は草が生えていて歩けない場所もある。建設省に要望しておられるのか伺う。

A

確かに国道54号の維持管理が行き届いていない状況です。道路特定財源の一般財源化により、最初に削られたのは維持管理費だと言われています。

雲南市としても轍ができていたり、歩道部に草がはいていたりして、困る状態があります。国交省にも要望していますが、なかなか対応してもらえていない状況です。今一度国交省に要望していきます。（建設部）

三刀屋町三刀屋地区 [国道54号の4車線化について]

Q374

凍結解除されたとのことだが、里熊橋までが4車線化という内容か。橋は広がるのか。

A

現在は国道314号との交差点から斐伊川までの間で90%用地買収が完了しています。凍結解除で工事を再開するにあたって、交通量を元に再評価され、交通量に見合った道路構造にすることで、将来、尾道松江線が開通することも見越し、4車線化する範囲は島根電工前交差点（地王交差点）から木次町里方交差点（合庁前）について実施します。

里熊橋も4車線化されます。島根電工前から三刀屋中学校前までは交通量が少ないので、2車線のままで、右折レーンを整備することや、幅の広い歩道を整備することになりました。桜並木が平行している場所は広い遊歩道をつくり、憩いの場とすることも計画されています。（建設部）

吉田町吉田地区 [広域路線バスの運賃について]

Q375

各町に運賃に不公平があるのではないかと。市内は一律同額料金にしてはどうか。

A

今後検討していきたいと思います。（政策企画部）

平成 21 年度市政懇談会（まとめ）

吉田町吉田地区 [菅谷たたらに向かう道路改良について]

Q376

県道吉田三刀屋線から菅谷たたら山内へは、道路の幅員が狭く大型自動車が直接目的地に乗り入れることができないので、県道に接する山内生活伝承館から徒歩（約 400m）で下り、菅谷たたらを見学して、自動車の所に帰るには上り坂となり、人手を借りながらたどり着く状況であり、高齢者には厳しい行程である。このため高齢者の見学者が年々減少しているのが現実と思われる。

県道吉田三刀屋線から市道竜宮線の拡幅を図り、整備をされて、高齢者が安心して見学できるようにすることが、地域として活性化に繋がることと考えられるので早急にその対応をされるよう要望する。

A

市道竜宮線は幅員 4.0m未満でカーブもきつく大型車の通行が困難な状況であることから、高殿地区にお住まいの皆様や文化財見学の方に不便をおかけしていることは十分に認識しています。

雲南市では、合併以降継続路線を主に道路改良を行っていますが、現在新規路線に着手することが困難な状況です。

吉田町においては、現在市道後谷線を施工中ですが、高速道路尾道松江線の残土搬出等作業道路として使用中のため 2 年にわたり工事を休止しています。

今後はこの路線の早期完成を図り、本路線に着手したいと考えますのでご理解をお願いします。なお現道拡幅か一部バイパスで行うかなど路線計画を現在検討中であり、駐車スペースの確保等地域の皆様のご意見を参考に決定いたします。（建設部）

吉田町田井地区 [市民バスの運行経路について]

Q377

北原線はふるさとセンターを經由してもらいたい。医療機関、行政窓口へ来られる方、また、出かけられる方もあるが、ふるさとセンターと深野バス停の距離を行き来している方が多く大変だ。

A

北原線が該当します。北原線は国鉄バスが廃止になったものを木次町が引き継いだものです。これがふるさとセンターまで入ると言うことについては今日の回答はできません。検討し、総合センターから回答します。

吉田のバスは、10月からはデマンド型運行を試験的に導入することを検討しています。吉田地区、田井地区でそれぞれバスの運行をさせます。また、社会福祉協議会で過疎地有償運行サービスを計画しておられるので、これらと北原線との接続の方法について検討します。（政策企画部）

吉田町田井地区 [小学生のバス利用について]

Q378

大宝から吉田中学校へ通学で利用しているが、小学生も乗ることが出来ないか。小学生の下校時のバス利用については曜日によって乗車出来る便が異なっている。

A

吉田村の頃からのルールに基づいて実施しています。個別案件として別の機会に回答します。（吉田総合C）

平成21年度市政懇談会（まとめ）

掛合町波多地区 [除雪会議について]

Q379

毎年除雪会議が開催されており、そこで決まった内容については報告があるが、この会議にコミュニティ協議会や消防団も参加したらどうか。

会議での決定事項については、コミュニティ協議会から各自治会へ周知し、また除雪の要望・連絡等個々にするのではなく自治会長を通してコミュニティ協議会が集約し総合センターと連絡を取り合うといった仕組みを作ってはどうか。

A

雲南市の除雪会議については、毎年11月下旬に建設部と各総合センターで開催しています。内容については市統一の除雪計画を定めるもので、除雪基準、体制、方法等が中身となります。それを受け、各総合センター単位で除雪会議を開催しています。掛合総合センターでも総合センターと作業委託業者で開催しています。

ただし、会議については、あくまで市が業者へ除雪を委託するための打ち合わせや確認といった内容です。コミュニティ協議会に参加してもらうような会議にはなっていないのでご理解いただきたい。コミュニティ・振興協議会連絡会議を通じて総合センターから説明や要望を聞くことは可能と考えています。

提案の中にもありましたが、個々に要望するのではなく地元で集約し代表者が要望するという方法はルールとしてはいいと思いますし、総合センターとしてもそのほうが助かります。ただ市全体の除雪基準や公平な判断、また町内他地区の考え方もあると思いますので、今後前向きに検討させていただくことで今日のところはご理解をお願いします。（掛合総合C）

*10月1日に開催したコミュニティ振興協議会で今年度の体制等を説明し、意見を頂きました。

掛合町波多地区 [陰切について]

Q380

今年の大雪では倒木による被害が多くあり通行できない道路や、電線が切れ停電したところもあった。（最高24時間）

行政として前もって陰切りがやってあったところは被害が少なかった。飯南町では常日頃から雪に備えて陰切りが徹底されていたという話を後から聞いた。市の対策はどうか。

A

今年の1月の雪で町内いたるところで倒木がありました。また、道路の法面の木が大きくなって道路の路面に覆いかぶさっているところも多くあります。個人で対応にも無理があることは市としても承知しています。

陰切りについては、昨年度も他の地区で要望があり、補正処置により対応をした。掛合については広域農道、幹線道路を優先的に実施しました。町内全部を実施しようと思うと多額な費用がかかるためどうしてもすべての対応は困難になるのでご理解をお願いします。

今年になって国の経済対策の予算がつき、道路維持補修についてもある程度配分を受けているので、今後再度調査をし、限られた予算内で必要な箇所から早急に対応しようと考えているのでご理解をお願いします。（掛合総合C）

Q381 [関連質疑]

積雪地帯、水害常襲地帯については重点的に対応するべきではないか。

A

除雪機械の共同利用に対し助成したいと考えています。また、陰切り高所作業車導入予定しています。（建設部）

掛合町波多地区 [飯南町バスの利用料金助成について]

Q382

今年4月から飯南町バスの利用料金が200円から400円になった。事前に市（政策企画部）からコミュニティ協議会へ情報提供があり、これに対してコミュニティ協議会から要望したが差額に対する助成はできない、飯南町へ運行路線の維持を要請するとの回答だった。

現在はそのとおりの運行となっている。高齢者が多くだんだんタクシーしか地域交通がない地域であり、病院も掛合診療所があるがそれよりも飯南病院が近い。そういった面で（バスの）利用も結構ある。何とかして手当てがしてもらえないか。

A

飯南町営バスについては厳しい状況の中で維持されており、出雲市と雲南市に対して一部経費負担をして欲しいと要望が 있습니다。また、町外の利用者は400円だが波多地区住民については町内扱いの200円で利用ができていたが、これについても見直しをお願いしたいという要望がありました。

さきほど話しがあったように、なかなか助成は難しいと回答はしていますが、皆さんに利用していただかないと飯南町自体も路線の維持ができなくなるということで、早急に差額の200円部分について市で助成する方向で検討を始めています。

ただ、実際にどのような形で助成するか、例えば乗車するときに雲南市発行の200円分の何かと現金200円を一緒に支払い、雲南市発行の200円分については飯南町から請求してもらうとか、どういう方法が一番いいのか今後早急に検討して差額の200円分については市で負担できるように検討しますのでよろしくをお願いします。（政策企画部）

掛合町波多地区 [地域内交通システムについて]

Q383

地域内を自由に歩けるような交通システムを作っていきたいと考えている。当面は曜日を決めてイベント、会合時、温泉利用の際の利用者を募っていき、最終的には毎日運行できるような仕組みを検討している。

県の事業もあるようだが、初期投資（車の購入等）が必要であるためぜひ市の支援をお願いしたい。もう少しきちんとした計画ができた時点で正式に要望していく予定にしているのでよろしくをお願いしたい。

A

現在、当地区で中山間地域コミュニティ再生重点プロジェクト事業の中でリースによる試験運行を計画していただいています。

平成21年度から鳥根県の単独事業ができたので、これを利用すると中山間地においても自治会主体の輸送事業が運送事業法に基づかずに実施できます。「鳥根県自治会等輸送活動支援モデル事業」といい、県が2/3、市が1/3負担で市が車を購入し、その車を自治会等に貸与し運転等は地元でやっていただくものでこの事業に合致するのではと思っています。

ただし、交通空白地域であるという条件があり、現在飯南町バスやだんだんタクシーがあるため、空白地域として県が認めてくれるかという問題があります。そのような問題をクリアするためにも彩りプロジェクトで試行しようとしている地域内の独自輸送事業をうまく展開し、その検証結果を元に来年度に向けた事業の導入を県へお願いしていけたらと考えています。

市としても精一杯支援をさせていただき、様々な面で相談を受けながらいい方向に向っていければと考えていますのでよろしくをお願いします。（政策企画部）

掛合町入間地区 [河川の倒木処理について]

Q384

今年の豪雪による倒木で県の観光名所である八重滝をはじめあちらこちらの川で倒木がそのままの状態になっている。自分達で何とかしようとしたがチェーンソーの油が川に出るのでどうすることもできなかった。これらの木が下流へ流れていったら大変なことになる。住民の力では限界があるので、職員がもっと現地を丁寧に歩いて現状を把握して危険箇所をしっかりとチェックして欲しい。市長の言う迅速・丁寧にという言葉もあるが災害が起こってからでは遅いのでどうか迅速に対応して欲しい。

A

八重滝の倒木の件については、7月12日の週に工事入札行う予定です。業者が決まればすぐに契約し打合せをして工事に着手したいと考えています。八重滝遊歩道については4箇所の修繕箇所があるが今年の盆までに修繕完了目指しています。

河川の倒木についても限られた予算の中で入間地区以外の処理も並行してやっています。被害の大きい箇所から行っているのなかなか全部のことにはならないが調査をしながら対応していきます。（掛合総合C）

*八重滝の遊歩道改修は8月24日に完了しました。

掛合町掛合地区 [尾道松江線PA（パーキングエリア）の活用について]

Q385

6月28日の山陰中央新報に、尾道松江線について「横断道開通へ期待と不安」という記事が載っていた。「活用の協議会はできているが、国土交通省への誘致活動など具体的な動きはこれからで、地元の活動をソフト面で支える市役所の担当部署も未定である」と書いてある。

吉田・掛合PAの敷地は将来どのように活用するのか、市の考えをお聞かせいただきたい。

A

尾道松江線の工事着手率は9割以上で、用地買収は100%完了しています。

最初に高速道路の計画があった時から、行政側のほうでPAを誘致してなんとか活性化できないかと協議会を結成し検討していました。それが無料の高速道路として直轄負担となりました。

国土交通省では投資経費を最低に抑える、無駄な施設（PA、SAなど）を作られません。それでは地域活性化は図れないため、高速道路を利用しながら活性化を図る方法、また高速道路からいかにお客さんを下ろして地域に引き込むかを模索しています。

掛合町、吉田町でPA活性化推進協議会を結成し、検討していくこととなりました。それだけでは不足のため、行政も一体になってやっという話が出ていた時にその新聞記事が出ました。

まだ、担当部署は決まっていますが、地域と行政と両方から知恵を出し合っというと考えています。（建設部）

掛合町掛合地区 [道路改良等について]

Q386

国道54号線から郡自治会へは2つの橋がある。しかし、狭い橋であり、ぜひ2車線の橋を十日市自治会（掛合の里のあたり）から建設していただきたい。2年前にも要望している。県道掛合大東線は20年前から改良されているが、前回の改良から14、5年経っている。ぜひ改良をしていただきたい。

A

市道については、現在継続路線（合併前からの）を改良しています。掛合町は出来山寺谷線の1

平成 2 1 年度市政懇談会（まとめ）

路線で平成 23 年度ごろに完了予定です。その後については、市全体の道路ネットワークなど考慮していきたいと考えています。市道郡十日市線は市長も現地確認をしています。郡橋のところは右折車線がなく、事故も多いことから、下（もう 1 つ）の橋が必要だと認識しています。

ただし、十日市から橋を建設しようとする、岩盤、右折車線の設置、S 字カーブということもあり工事費が高くなると思われます。県道掛合大東線については、掛合部分の交通量は少ないと県が試算していますが、再度県に要望したいと思います。（建設部）

* 9 月 5 日、まちづくり懇談会が開催され、再度この要望がありました。